## 会 議 録

会議の名称	令和3年度第1回茨木市社会教育委員の会議					
開催日時	令和3年7月27日(火) 午後6時~午後7時					
開催場所	南館8階中会議室					
議長	三川俊樹					
出席者	稲田 勲今西幸蔵大浦晴子(オンライン参加)桑本由利子(オンライン参加)佐野 明 高尾末男髙本 賢三川俊樹(計8人)					
欠席者	古川美奈子					
事務局職員	岡田祐一 教育長 小田佐衣子 教育総務部長 上田雄彦 市民文化部長 松本栄子 教育総務部次長兼社会教育振興課長 木下典子 教育総務部歴史文化財課長 吉田典子 教育総務部中央図書館長 地頭江 智 市民文化部文化振興課参事 小西勝二 市民文化部スポーツ推進課長 他職員(計11人)					
議題(案件)	(1) 令和2年度事務・事業実績報告について (2) 令和3年度事務・事業執行計画について					
配布資料	会議資料					

	議事の経過
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
社会教育振興課長	【開会】
教育長	【あいさつ】
社会教育振興 課長	【社会教育委員の紹介・事務局職員の紹介】 令和3年7月1日から令和4年6月30日を任期として委嘱された 委員を紹介。 令和3年4月1日人事異動に伴う事務局職員を紹介。 感染症対策による出席人数削減のためオンライン会議併用。 大浦委員、桑本委員が、オンライン参加。古川委員からは欠席の 連絡をいただいている。
	【会議の成立】 9人中8人の委員にご出席いただいており、茨木市社会教育委員条 例第6条第3項の規定により本会議は成立。
	茨木市社会教育委員条例第5条第2項に基づき、議事進行については   三川議長にお願いする。
三川議長	本日の会議は、感染症対策として、会議時間短縮を図り、午後7時までに終了予定で議事を進めていく。協力を願いたい。
	【会議の公開】 本会議は、「公開」とし、傍聴者の資料の閲覧及び持ち帰りも許可し、ホームページや情報ルーム設置の会議録の内容については、議長に一任とさせていただく。 (傍聴者はなし。)
	本日の議案に入る。 まず、資料中「令和3年度の社会教育の努力目標」については、令和2年度第2回の会議において審議いただき策定したものであり、この努力目標に基づき、今年度の事務事業執行を進めるものとなる。
	本日の議案は、「令和2年度の事務・事業実績報告」と「令和3年度の事務・事業執行計画」であるが、事前に資料送付のうえ、各委員からの意見聴取をした。

			議	事	の	<b>1</b>	径	迢	<u>j</u>						
発言者	議	題	(案	件)		発	言	内	容	•	決	定	事	項	
	各委員が りまとめた 涯学習推進 て、説明い お願いした	資料 計画 たた	斗を酉 町素第	己布しての概点	てい 要、	る。	そっぱー	れら ツ推	にご	つい 計画	ての	)概.	要説 見直	明の行	後、生 つい
社会教育振興 課長	【・・ こうしょ こうしょ でんしょ しん こう こう と か 開 料 意 追り か 開 料 意 追い しん と の 見 記 に て れ 活 ら 催 の 見 記 に て れ に で 修 へ し	いてこ年等たき正の	いっこでにごら、対たるでは夫いよ追応	で事詳ロし意努にした前細ナで見めつて	意送の禍事をてい、見付説で業踏いてコ	とを明模をまき、ロー	そで割し施りいます。	てお愛たし惑。 策	に、この一の症 記載	す確で和策が	る認 た3を な	で 大き 大き 一	果ご 数にな 近かい 制つが に	らて限いら講じれてであった。	回る かもき ため ラ委だ 容
文化振興課参事	を記載し ・生涯学習 ・生涯学習 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	推進 た 変 度	生計画 資料に を定う	画素案( は、事務 み定だ	の概 8局かった	要に 作成 が、	こつ 素多 コ	いて 客で ロナ	、現る 、現る ·禍で	在季	製造	会に	.諮問 。社	引中で	_
スポーツ推進課長	・スポーツ 平成 2 のとおり	8 (2	2016)	年3	月に	_策				につ	⊃\v`	て、	提力	示した	資料
三川議長	各委員、	意見	見等に	はある;	か。										
大浦委員	家庭教育 家庭教育 せないか。 加され意見 家庭教育支	下学総 よと 上交流	及の活がわれたがったがって	5動は ウ生協 ごきた。	平日 で親 。多	だ! まな <b></b> 策性	ナな さび 、男	のか を実 女‡	·。父 施し	、親、	や祖 いろ	父f  んプ	母の な世	参加を	とめざ ケが参

	議事の経過
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
	「よりみちルーム」は、私達の意見を取り入れていただき、関わらせてもらっている。7/29 に予定したものが、人が集まらず中止となり残念。広報と、簡単に申込ができるよう QR コードの取り入れなど検討してほしい。
社会教育振興課長	家庭教育学級は、学級が自主的に運営しており、それぞれ活動しや すい日時を設定されている。情報交換会などで、家庭教育に父親、祖 父母その他いろいろな大人が関わる必要性について働きかけをして いきたい。
	保護者の交流、語り場である「よりみちルーム」は、今年度家庭教育支援にかかる新規事業で、関係団体と連携してオンラインにより実施するものである。HP、SNSで周知しているが、今後広報誌掲載やQRコードによる申込等、取り入れていく。
佐野委員	今年度もコロナ禍で地域の運動会は中止とした。古川委員の意見に「何もしないことが安全ではなく工夫していくことが必要」とあるが、実施の可否の判断基準というのはあるのか。
教育総務部長	市新型コロナウイルス対策本部で、府の要請等に従い、対応を検討している。ワクチン接種が進めば状況は徐々に変わるかと思うが、その都度の検討になる。
三川議長	「工夫」というところに目をむける必要がある。
高尾委員	スポーツ関係では、府や三島の大会は早々と中止が決定しているものがあるが、市体育協会杯はできるだけ実施したいと進めている。 新しい生活様式で、人と関わらない、個人主義も進んでいるのでは。 地域活動が停滞し「やらなくていい」という考えが増えているように 感じる。誰かが思い切ってやらないと。会議の書面実施がされている が、顔が見えないため、公民館、コミセンその他様々な行事はやりに くい。話し合っていかないとできない。
三川議長	新しい生活様式を踏まえた社会教育をどう進めていくのか。生涯学 習推進計画素案でも触れられている。
今西委員	困難な状況の中で、よくがんばっておられると感じた。 委員として有意義な、具体的な提案ができず申し訳ないと思ってい

	議事の経過
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
	る。 指摘するとすれば、それぞれの取組について「強靭さ」が読み取れない。たとえば青少年教育の分野など、工夫をしてできていることはもっとあるのではないか。 生涯学習推進計画については、「自己実現」が過去の言葉となっており、社会の重層型の関わり(行政、教育、企業等)を示していく必要がある。
三川議長	スポーツ推進計画の見直しについて、アンケート調査とあるが、その内容はどういったものか。
スポーツ推進課長	各スポーツ団体を対象にするもので、内容は検討中である。
高尾委員	スポーツ施策について、体育協会としてスポーツ推進課と定期的に 打合せをしている。底辺を広くし、トップアスリートを育成するため の取組、生涯スポーツとしての取組、ハンディキャップのある人への 取組について、スポーツ施設、指導者、支援者の在り方等を検討して いる。
社会教育振興 課長	青少年教育について、例えば野外活動センターでは少人数・短期間のキャンプを基本としたものに変更し、工夫をして実施している。抽選になるほどの申込がある。子どもセミナーについては、子ども達の体験と交流が重要であるため、感染対策をしながらの対面実施としている。こちらも大変人気がある。コロナ禍であっても、事業の趣旨に沿った様々な工夫をして、子ども達の体験や交流につなげていきたい。
三川議長	時間の関係で、意見交換は以上とする。全委員から意見をもらえず 申し訳ない。何かあれば、電話やメールで事務局まで寄せてほしい。 事務局から連絡事項はあるか。
事務局	(社会教育研究大会 (大阪大会) について) (次回会議について)
稲田委員	人権協からのお知らせである。今日から8月1日まで、中央図書館 で非核平和展を実施している。ご参加いただきたい。

	議事の経過
発言者	議題(案件)・発言内容・決定事項
三川議長	以上で、本日予定した案件は、全て終了した。 これをもって、令和3年度第1回茨木市社会教育委員の会議を閉会する。